

プログラム

特別講演・市民公開講座 9月4日 15:30～16:40

第1会場

司会：前新 直志（国際医療福祉大学）

SL 吃音の先にあった多様な世界

近藤 雄生（こんどう ゆうき）
ノンフィクションライター

大会長講演 9月4日 9:00～10:00

第1会場

司会：長澤 泰子（日本吃音・流暢性障害学会 理事長）

PL 話しことばにおける流暢性の問題および共生社会に向かって

前新 直志（まえあら なおし）
国際医療福祉大学

教育講演 9月3日 9:10～10:10

第1会場

司会：村瀬 忍（岐阜大学）

EL 幼児吃音臨床ガイドライン策定の経緯とねらい

森 浩一（もり こういち）
国立障害者リハビリテーションセンター

臨床講座 9月4日 10:10～11:40

第1会場

司会：川合 紀宗（広島大学学術院（大学院人間社会科学研究所））

[他の障害と併存する吃音・流暢性障害への対応]

C-1 知的障害併存例の実態と対応

石上 志保（いしがみ しほ）
東京通信病院 小児科

C-2 発達障害併存例への対応 ～言語通級指導教室での「自立活動」の実践から～

澤口 陽彦（さわぐち はるひこ）
福山市立霞小学校

C-3 早口言語症への対応：語用論的アプローチの重要性

宮本 昌子（みやもと しょうこ）
筑波大学人間系

[吃音と共に生きる]

SI-1 吃音のある子供の親として

話題提供者1

中村 泰介(なかむら たいすけ)

吃音のある子供の家族

SI-2 過去の吃音体験の蓄積が、現在の私を支えてくれる

話題提供者2

辻 絵里(つじ えり)

吃音当事者

SI-3 吃音と社会のありかた

話題提供者3

新発田 健太郎(しばた けんたろう)

吃音当事者、言語聴覚士、国際医療福祉大学塩谷病院

[吃音・流暢性障害がある方への心理社会的支援]

SII-1 ピアサポートによる青年期の支援

話題提供者1

松原 充(まつばら みつる)

ういーすた関西

SII-2 専門職による青年期の支援

話題提供者2

北條 具仁(ほうじょう ともひと)

国立障害者リハビリテーションセンター病院

SII-3 吃音のある青年の就労支援

話題提供者3

飯村 大智(いむら だいち)

川崎医療福祉大学

**SPI 幼児・学童期吃音の臨床
—理解授業の実際とその意義**

企画者：原 由紀（はら ゆき）
北里大学

登壇者：高山 祐二郎（長野県小諸養護学校）
立花 潤（長野市立青木島小学校）
餅田 亜希子（東御市民病院）

指定討論：堅田 利明（関西外国語大学短期大学部）

**SPII 臨床セミナー
「吃音臨床の手引き」を活用した実践演習**

企画／統括ファシリテーター：堅田 利明（かただ としあき）
関西外国語大学短期大学部

グループファシリテーター：原 由紀（北里大学）
羽佐田 竜二（NPO 法人 つばさ吃音相談室）
田宮 久史（久美愛厚生病院）
坂田 善政（国立障害者リハビリテーションセンター学院）
金子 多恵子（長野医療衛生専門学校）
餅田 亜希子（長野県東御市民病院）
西尾 幸代（福井県立福井東特別支援学校）

栃木県通級指導教室企画

みんな集まれ! スタンプラリー 9月4日 13:50~15:00 [中止]

第4会場

司会：五月女 美里(大田原市立大田原小学校)

吃音のある児童・保護者による情報交換・交流会

みんなあつまれ チャレンジ スタンプラリー

企画者：五月女 美里(そうとめ みさと)、山本 敏江、石川 敏達
大田原市立大田原小学校

ゲスト：菊池 良和
九州学大学病院

吃音当事者企画 吃音交流会 9月4日 10:00~11:20 [中止]

第3会場

司会：新発田 健太郎(栃木言友会)

小グループに分かれての交流会

企画者：新発田 健太郎(しばた けんたろう)、中村 響
栃木言友会

吃音当事者企画 マイメッセージ 9月3日 12:00~13:00

第1会場

司会：新発田 健太郎(栃木言友会)

当事者が自身の体験や思いを自由に発表する

企画者：新発田 健太郎(しばた けんたろう)、中村 響
栃木言友会

口頭発表 プログラム

口頭発表Ⅰ 9月3日(土) 10:20～11:00

第2会場

座長：黒澤 大樹(太田西ノ内病院)

O-01 吃音症における社交不安とコーピング特性の関係

○富里 周太(とみさと しゅうた)¹⁾、矢田 康人²⁾、甲能 武幸¹⁾、和佐野 浩一郎³⁾

1) 慶應義塾大学 医学部 耳鼻咽喉科学教室、2) 東京都立大学大学院 人文科学研究科 言語科学教室、
3) 東海大学 医学部 耳鼻咽喉科頭頸部外科

O-02 吃音者に併発する社交不安症の有無におけるアプローチの検討

○北村 匠(きたむら たくみ)¹⁾、菊池 良和²⁾、仲野 里香¹⁾、森田 紘生¹⁾、立野 綾菜¹⁾、
蔦本 伊緒里¹⁾、加賀 勇輝¹⁾、宮地 英彰¹⁾

1) 医療法人はかたみち はかたみち耳鼻咽喉科、2) 九州大学大学院 医学系学府 耳鼻咽喉科

O-03 中国と日本における吃音者の困難と合理的配慮に関するアンケート調査

○サイ イキツ(さい いきつ)¹⁾、小林 宏明²⁾

1) 金沢大学 人間社会環境研究科 地域創造学専攻、2) 金沢大学 人間社会研究域学校教育系

口頭発表Ⅱ 9月3日(土) 13:20～14:20

第2会場

座長：塩見 将志(川崎医療福祉大学)

O-04 吃音を主訴に医療機関を受診する中学・高校生の特徴

○酒井 奈緒美(さかい なおみ)¹⁾、北條 具仁²⁾、角田 航平²⁾、石川 浩太郎²⁾

1) 国立障害者リハビリテーションセンター研究所、2) 国立障害者リハビリテーションセンター病院

O-05 当院の吃音臨床における治療効果と長期化しやすい症例の傾向

○清水 一真(しみず かずま)¹⁾、前新 直志¹⁾²⁾

1) 国際医療福祉大学クリニック 言語聴覚センター、
2) 国際医療福祉大学クリニック 保険医療学部 言語聴覚学科

O-06 吃音のある幼児の構音能力と発話の関係

○越智 景子(おち けいこ)¹⁾、酒井 奈緒美²⁾、角田 航平³⁾

1) 京都大学、2) 国立障害者リハビリテーションセンター研究所、
3) 国立障害者リハビリテーションセンター病院

O-07 ダウン症児における発話非流暢性の状態と自己発話認識について

○石上 志保(いしがみ しほ)¹⁾³⁾⁴⁾、前新 直志²⁾

1) 東京通信病院、2) 国際医療福祉大学 言語聴覚学科、3) みくりキッズくりにつく、
4) 世田谷こどもクリニック

O-08 職員向けに吃音についてミニ研修を行ったことについて

- 小島 さほり(こじま さほり)
千葉市西部児童相談所

**O-09 管理された吃音者の身体
—文学作品から吃音について考察する意義**

- 橋本 雄太(はしもと ゆうた)¹⁾、井上 裕太²⁾
1)立命館大学大学院 先端総合学術研究科、2)無所属(大阪府立大学 人間社会学研究科 博士前期課程修了)

O-10 リラクゼーション呼吸法

- 篠原 シズ恵(しのはら しずえ)
栃木言友会 親子子育て相談塾ともよ塾

O-11 言語訓練が、吃音のある小学生のコミュニケーションに関連する心理や行動に与える影響

- 横井 秀明(よこい ひであき)¹⁾²⁾、内田 椋子¹⁾、伊藤 誓依也¹⁾、羽佐田 竜二¹⁾³⁾
1)特定非営利活動法人 つばさ吃音相談室、2)なるみ吃音相談室、3)医療法人赫和会 杉石病院

O-12 吃音のある児童生徒が学校生活で抱える困難に関する実態調査

- 小林 宏明(こばやし ひろあき)¹⁾、角田 航平²⁾、宮本 昌子³⁾
1)金沢大学人間社会研究域学校教育系、2)国立障害者リハビリテーションセンター病院、3)筑波大学人間系

**O-13 自助グループへの参加が吃音のある人に与える影響；
システムティック・レビューによる検討**

- 飯村 大智(いむら だいち)¹⁾、石田 修²⁾
1)川崎医療福祉大学 リハビリテーション学部 言語聴覚療法学科、2)茨城大学 教育学部

O-14 大阪公立大学耳鼻咽喉科における吃音に対する手帳取得の現状

- 阪本 浩一(さかもと ひろかず)¹⁾、藤本 依子²⁾、角南 貴司子¹⁾、安井 美鈴³⁾
1)大阪公立大学 耳鼻咽喉科、2)大阪公立大学 リハビリテーション部、
3)大阪人間科学大学 保健医療学部 言語聴覚士科

ポスター発表 プログラム

ポスター発表

ポスター会場

- P-01** 一般社団法人 東京都言語聴覚士会 言語聴覚の日イベント
「吃音 ～知って欲しいわたしたちの個性～」の開催報告
○本田 裕治(ほんだ ゆうじ)¹⁾³⁾、小林 祐貴¹⁾³⁾、波田野 健人¹⁾³⁾、新発田 健太郎²⁾³⁾
1) 東京ほくと医療生活協同組合 王子生協病院、2) 国際医療福祉大学 塩谷病院、
3) 一般社団法人 東京都言語聴覚士会
- P-02** 周囲に対して吃音の説明をした後、症状と悩みが緩和した吃音児の一例
—環境調整に焦点を当てた介入経過—
○黒澤 大樹(くろさわ だいき)¹⁾²⁾
1) 太田総合病院附属太田西ノ内病院 総合リハビリテーションセンター 言語療法科、2) ふくしま吃音懇話会
- P-03** 吃音者における吃音症状生起時と非生起時の母音の音響的違い
○大湾 日菜美(おおわん ひなみ)¹⁾、前新 直志²⁾
1) 医療法人社団東光会 戸田中央リハビリテーション病院、2) 国際医療福祉大学 言語聴覚学科
- P-04** テレコミュニケーションを用いたリッカムプログラムと
対面式リッカムプログラムの効果の比較
○坂崎 弘幸(さかざき ひろゆき)¹⁾²⁾³⁾⁴⁾、瀧元 美和³⁾⁴⁾、角田 玲子¹⁾²⁾、伏木 宏彰¹⁾²⁾
1) 目白大学耳科学研究所クリニック、2) 目白大学 保健医療学部 言語聴覚学科、3) 田中美郷教育研究所、
4) リハビリテーションカウンセリングルームてんとうむし
- P-05** 成人吃音話者のコンパッション瞑想中における脳活動を捉える試み
○藤井 哲之進(ふじい てつしん)¹⁾、豊村 暁²⁾、川端 康弘³⁾、関 あゆみ⁴⁾、横澤 宏一⁵⁾
1) 小樽商科大学 グローカル戦略推進センター、2) 群馬大学大学院 保健学研究科、
3) 北海道大学大学院 文学研究院、4) 北海道大学大学院 教育学研究院、
5) 北海道大学大学院 保健科学研究院
- P-06** 演題取り下げ
- P-07** 吃音者との接触経験と関わり方の関連性について：予備的検討
○遠藤 拓也(えんどう たくや)¹⁾、前新 直志²⁾
1) 社会医療法人社団 埼玉巨樹の会 新久喜総合病院、2) 国際医療福祉大学 言語聴覚学科
- P-08** 注意の焦点化が手指の運動に及ぼす影響
—吃音者の注意の特性の解明に向けての予備的研究—
○村瀬 忍(むらせ しのぶ)
岐阜大学 教育学部

P-09 マインドフルネス瞑想の吃音話者に対する効果の予備的検討

○宮代 大輝(みやしろ だいき)¹⁾²⁾、豊村 暁¹⁾、灰谷 知純³⁾、三井 真一¹⁾、熊野 宏昭⁴⁾

1) 群馬大学大学院 保健学研究科、2) 特定医療法人群馬会 群馬病院、
3) 厚生労働省 国立障害者リハビリテーションセンター 研究所、4) 早稲田大学 人間科学学術院

P-10 吃音をもつ看護大学生が基礎看護学実習においてヒューマンスキルに関する困難感を乗り越えた体験

○永峯 卓哉(ながみね たくや)、吉田 恵理子

長崎県立大学

P-11 非吃音者における話しにくさの自覚と心理特性の関係

○平山 瑠璃亜(ひらやま るりあ)¹⁾、前新 直志²⁾

1) 国際医療福祉大学病院 リハビリテーション室、2) 国際医療福祉大学 言語聴覚学科

P-12 青年期吃音者が抱く悩みと親に求める支援

○吉田 恵理子(よしだ えりこ)¹⁾、永峯 卓哉¹⁾、菊池 良和²⁾、永峯 伊織³⁾

1) 長崎県立大学 看護栄養学部 看護学科、2) 九州大学病院 耳鼻咽喉科、3) 長崎大学 医学部 医学科

P-13 吃音に対する VR を用いた曝露療法プログラムの開発と実践

○梅津 円(うめつ まどか)

株式会社 DomoLens